

7年目を迎えた電気自動車の省エネレース

7th Year of the Eco-Run Competition for Electric Vehicles

世界で初めての電気自動車の省エネレースは、ソーラーカーとガソリンのエコランレース技術を融合したレギュレーションとして体系化し、秋田県大潟村及び宮城県SUGOサーキットで1995年に開催、その後、各大会に展開(表1)し記録更新が継続してきています。特に70mの高低差で市街走行に近似する宮城県SUGOサーキットでの大会では、第1回大会での優勝チームの記録は、42.6kmであり、7回目を迎えた今年の優勝チームは、70.4kmを走行し、約1.65倍の省エネ走行を実現しました。

極限に近いCd値の低減をめざした車体技術の他に、平滑と回生の両方に使用するキャパシタ、フォイル・イン・モータ(DDモーター)、専用タイヤ等の各技術があります。

弊社では、人と地球環境に優しい、こうしたクリ

ーンエネルギーを利用したソーラーカー、電気自動車の省エネレースを支援し、将来に向けての技術者の育成に努めています。



写真-2 2001年各大会で活躍し、フォイル・イン・モーターの普及に貢献した(株)ミツバのUSO800(ワールドソーラーバイクレース・カテゴリ-S仕様)



写真-1 走行前にキャパシタの配線確認をする木村英樹氏(ソーラーバイク用;日本ケミコン(株)製角型電気二重層キャパシタ, 15V-65F 4直)

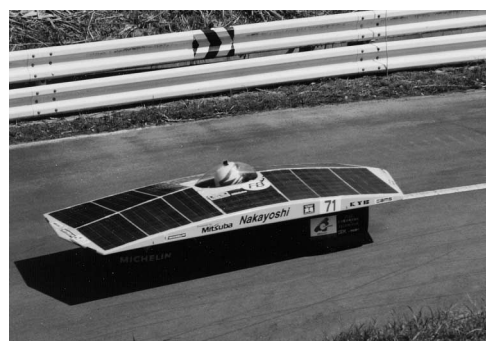


写真-3 各E.V.エコランレースでの技術を結集し、フルクラスのソーラーカーの成績を凌ぐチーム・Junkyard (W.S.R.ストッククラスフレッシュ部門で4回目の優勝)

表1 2001年各大会での使用・搭載電池について
Table 1 List of batteries used in the competitions held in 2001.

大会名称	開催地	開催日	搭載電池	供給電力量	備考
ワールド・エコノ・ムーブ	秋田県大潟村	5月4日, 5日	FT4L-BS×4個	約110Wh/2時間	キャパシタ
ワールド・ソーラー・バイクレース	秋田県大潟村	7月28日, 29日	FPX1275×5個他	約360Wh/2時間	ソーラーパネル, キャパシタ
電気自動車創作コンテスト	山形県余目町	8月10日, 11日	FPX1275×4個	約270Wh/1時間	キャパシタ
筑波EVミーティングECONO MOVE	筑波サーキット	8月19日	FPX1250×4個	約200Wh/2時間	キャパシタ
E.V.Ecorun in SUGO	スポーツランドSUGO	8月25日, 26日	12m7.2B×4個	約260wh/2時間	キャパシタ, フライフォイル
湖国EVフェスタ	滋賀県湖東町	9月22日, 23日	FPX1250×4個	約200Wh/2時間	キャパシタ

(産業機器営業本部 東北支店 熊谷枝折)